

マコンブ／スフィンゴモナス培養オイル

開発の経緯

マコンブを扱う漁師の手は紫外線に当たっているにもかかわらず、きれいで弾力があると言われていました。マコンブには元来、ネバネバ成分として糖類が含有されていたのです。マコンブ／スフィンゴモナス培養エキスとはマコンブを海洋性微生物であるスフィンゴモナスにより培養させることにより、細胞の原形質流動性を高めることができる新規原料です。海洋性微生物によるマコンブを発酵するという新規の技術により新しい発酵オイルが誕生しました。

化粧品 推奨濃度 5%

表示名称 マコンブエキス、スフィンゴモナス培養エキス、ダイズ油(配合比率 90:5:5)

INCI Laminaria Japonica Extract、Sphingomonas Ferment Extract、Glycine Soja (Soybean) Oil

原材料 マコンブ(日本産)、スフィンゴモナス(日本産)、ダイズ油(日本産)

保管方法: 冷暗所に保管する。(開封後は直ちに使用し、残液は保管しない。小分けが必要な場合、無菌下で行う。)

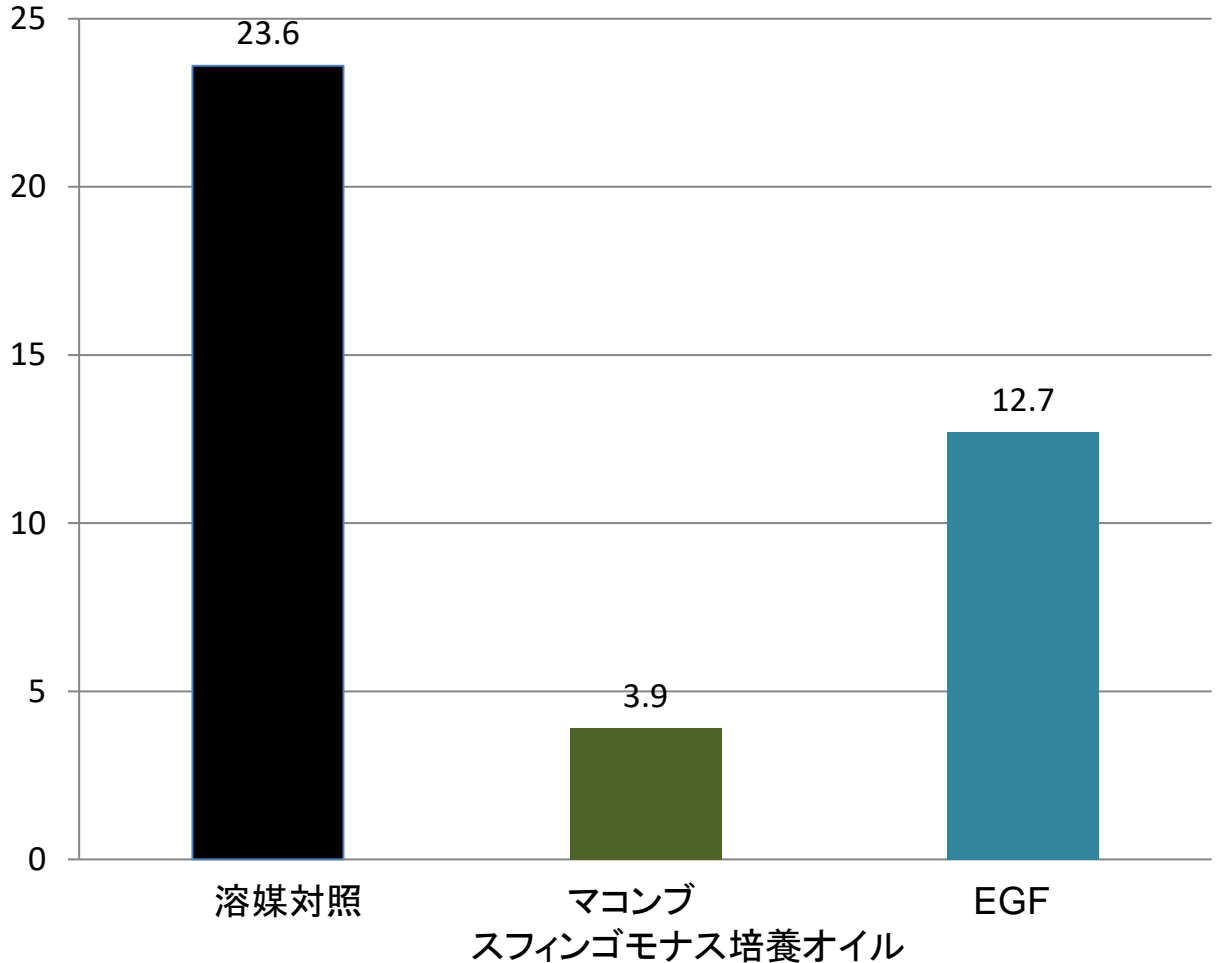
未開封時賞味期限 : 2年間。

日本製造

マコンブ／スフィンゴモナス培養オイル

ヒト皮膚表皮細胞 / 肌荒れ抑制作用

ヒト皮膚表皮細胞
肌荒れ指数 (mU/1000個)



紫外線照射したヒト皮膚表皮細胞にマコンブ／スフィンゴモナス培養オイルを添加して培養しました。溶媒対照として精製水を添加しました。

その結果、マコンブ／スフィンゴモナス培養エキスは肌荒れ指数(表皮細胞障害性、遺伝子酸化を指標として指数)を抑制しました。

製品規格書

製品名 : マコンブ／スフィンゴモナス培養オイル

検査項目 :

1. 外観

検査項目	規格	測定方法
色	黄色～薄黄色	目視
状態	油	目視

2. 重金属・微生物

検査項目	規格	測定方法
砒素	2ppm 以下	原子吸光光度法
重金属	20ppm 以下	硫化ナトリウム比色法
一般細菌数 (生菌数)	100 以下/g	標準寒天平板培養法
真菌数	陰性 0 / g	デキストリン培地培養法
大腸菌群数	陰性 0 /100g	MPN算出法

化粧品 推奨濃度 5%

表示名称 マコンブエキス、スフィンゴモナス培養エキス、ダイズ油 (配合比率 90 : 5 : 5)

INCI Laminaria Japonica Extract、Sphingomonas Ferment Extract、Glycine Soja (Soybean) Oil

原材料 マコンブ (日本産)、スフィンゴモナス (日本産)、ダイズ油 (日本産)

保管方法 : 冷暗所に保管する。(開封後は直ちに使用し、残液は保管しない。小分けが必要な場合、無菌下で行う。)

未開封時賞味期限 : 2年間。

日本製造

以上

製造元 : 株式会社 安理ジャパン

安全データシート(SDS)

< 1. 製品情報 >

製品名 : マコンブ／スフィンゴモナス培養オイル
製造者 : 株式会社 安理ジャパン
〒491-0903 愛知県一宮市八幡四丁目1-67-606

< 2. 物質の特定 >

単一製品・混合物の区別 : 培養オイル
化学名(一般名) : 特定できない
CAS RN : 特定できない
化審法番号 : なし
安衛法番号 : なし
国連番号(番号 クラス) : 該当せず
EINECS : なし
TSCA : なし

< 3. 危険有害性の分類 >

分類の名称 : 分類基準に該当しない
危険性 : 可能性がある。 熱、火花及び火災で着火することがある。
有害性 : 眼、呼吸器及び皮膚を刺激するおそれがある。
環境影響 : 記載すべき情報はない。

< 4. 応急措置 >

目に入った場合 : 直ちにまぶたを開いて、流水で15分以上洗浄する。症状が出た場合等、必要に応じて医師の相談を受ける。
皮膚に付着した場合 : 症状が出た場合等、必要に応じて医師の相談を受ける。
吸入した場合 : 症状が出た場合等、必要に応じて医師の相談を受ける。
飲み込んだ場合 : 多量に飲み込んだ場合、下痢を起こす場合がある。症状が出た場合等、必要に応じて医師の相談を受ける。